

福島第一原子力発電所構内における ボルト締めタンクの総点検結果について

< 参 考 資 料 >
平成25年8月22日
東京電力株式会社

< 概要 >

本日（8/22）11時から15時頃にかけて、H4エリアタンク堰のドレン弁から水が出ていたことに鑑み、他エリアタンクの総点検（外観点検・線量測定）を実施。その結果、タンクおよびドレン弁の外観において、漏えいおよび水たまりは確認されなかった。

しかし、本日(8/22)14時頃、H3エリアのタンク周辺において、部分的に線量が高い箇所（2箇所）を確認。

なお、当該箇所はいずれも乾燥しており、堰内外への流出は確認されなかった。

[高線量箇所およびその表面線量当量率測定結果] (+ 線(70 μ m線量当量率))

- ・ H3エリア Bグループ No.4 タンク底部フランジ近傍：100mSv/h
- ・ H3エリア Aグループ No.10 タンク底部フランジ近傍：70mSv/h

その後、上記2基のタンクについて、水位レベルを確認したところ、いずれも受入時と変化がないことを確認。

- ・ H3エリア Bグループ No.4 水位レベル97%
- ・ H3エリア Aグループ No.10 水位レベル95%

パトロールの目的・点検項目

1．目的

さらなる堰外漏えいの防止のため、緊急な対応を必要とするタンクの有無を全ボルト締めタンクを対象に短期間で調査する。

詳細調査は内容・時期を含め別途計画する。

2．点検項目

<漏えい確認> 線量測定： + 線量（有効数字一桁）を記録する。

- ・タンクエリア外周堰ドレン弁外側部の地上線量測定
全数測定

ドレン弁外周端から水平50cm程度、地上高さ50cm程度

- ・各タンク外周部

タンク外表面から概ね1m以内、地上高さ50cm程度

全周測定し10mSv/時以上のものを記録

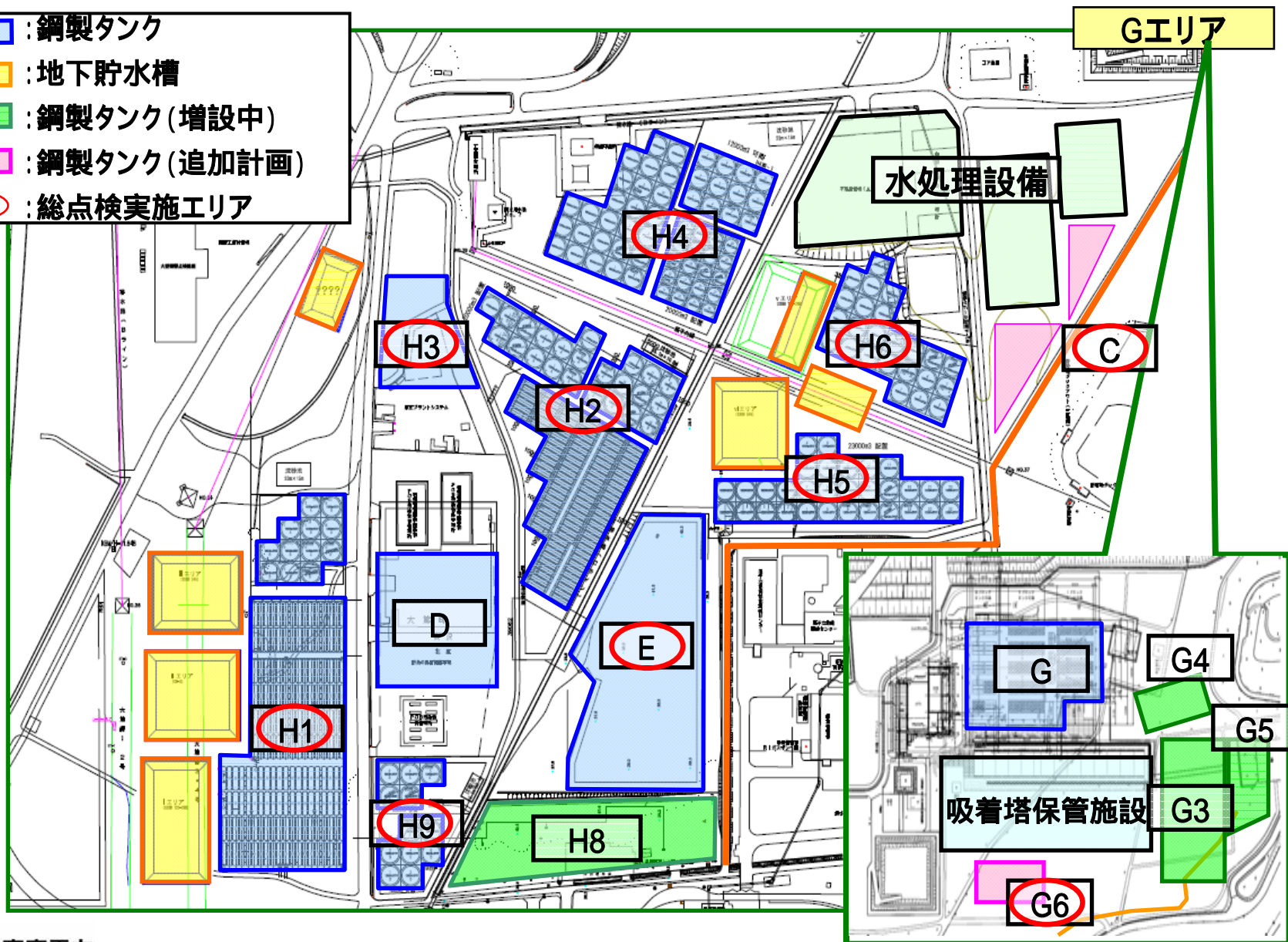
この場合、地上直近（5cm程度以内）線量も記録

<エリア外周堰健全性>

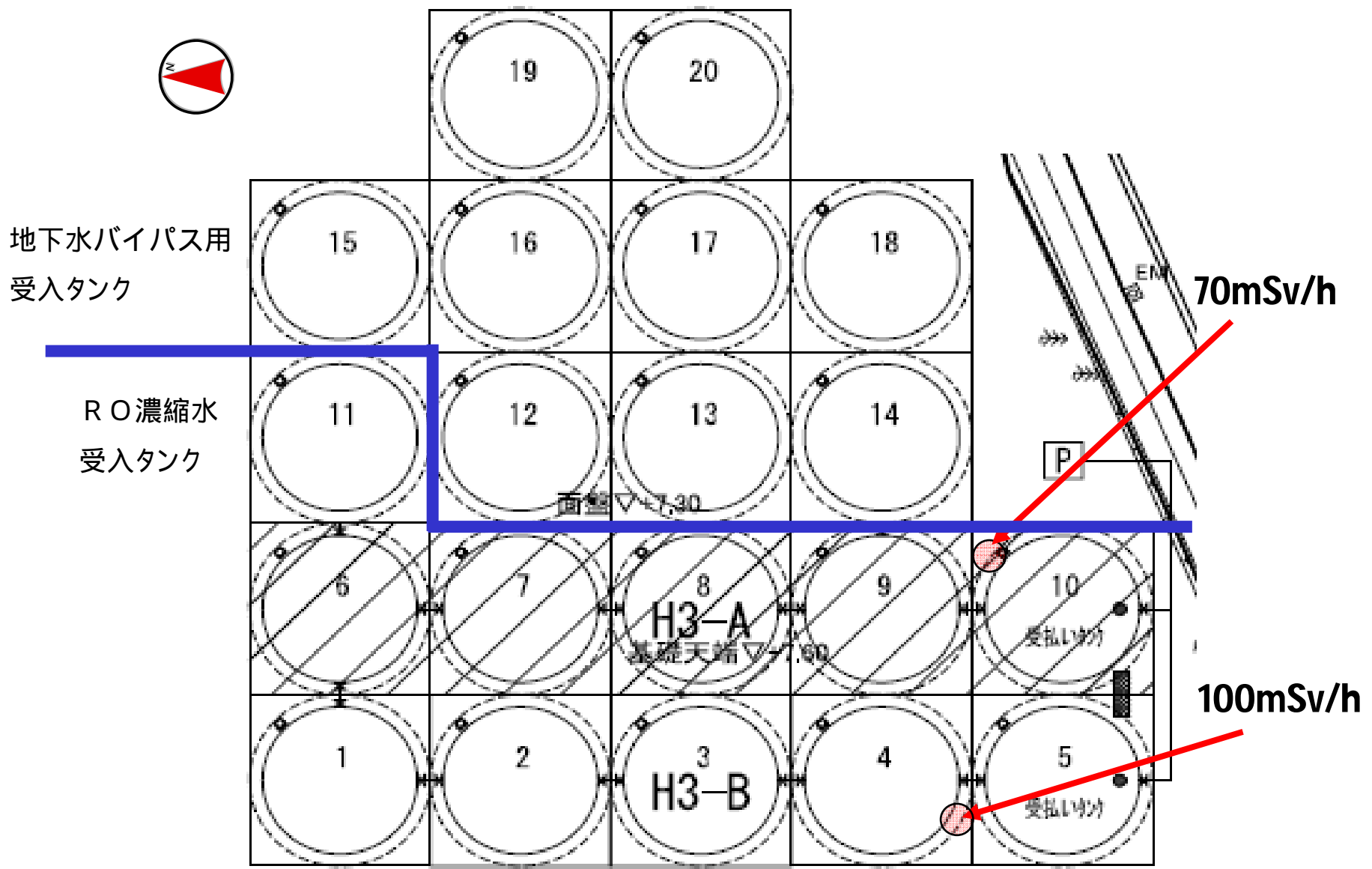
- ・エリア外周堰の著しいひび割れ（内外貫通など。）の有無
ひびの外側地上もドレン弁同様の線量測定を行う

タンクエリアと排水路の位置

- : 鋼製タンク
- : 地下貯水槽
- : 鋼製タンク(増設中)
- : 鋼製タンク(追加計画)
- : 総点検実施エリア



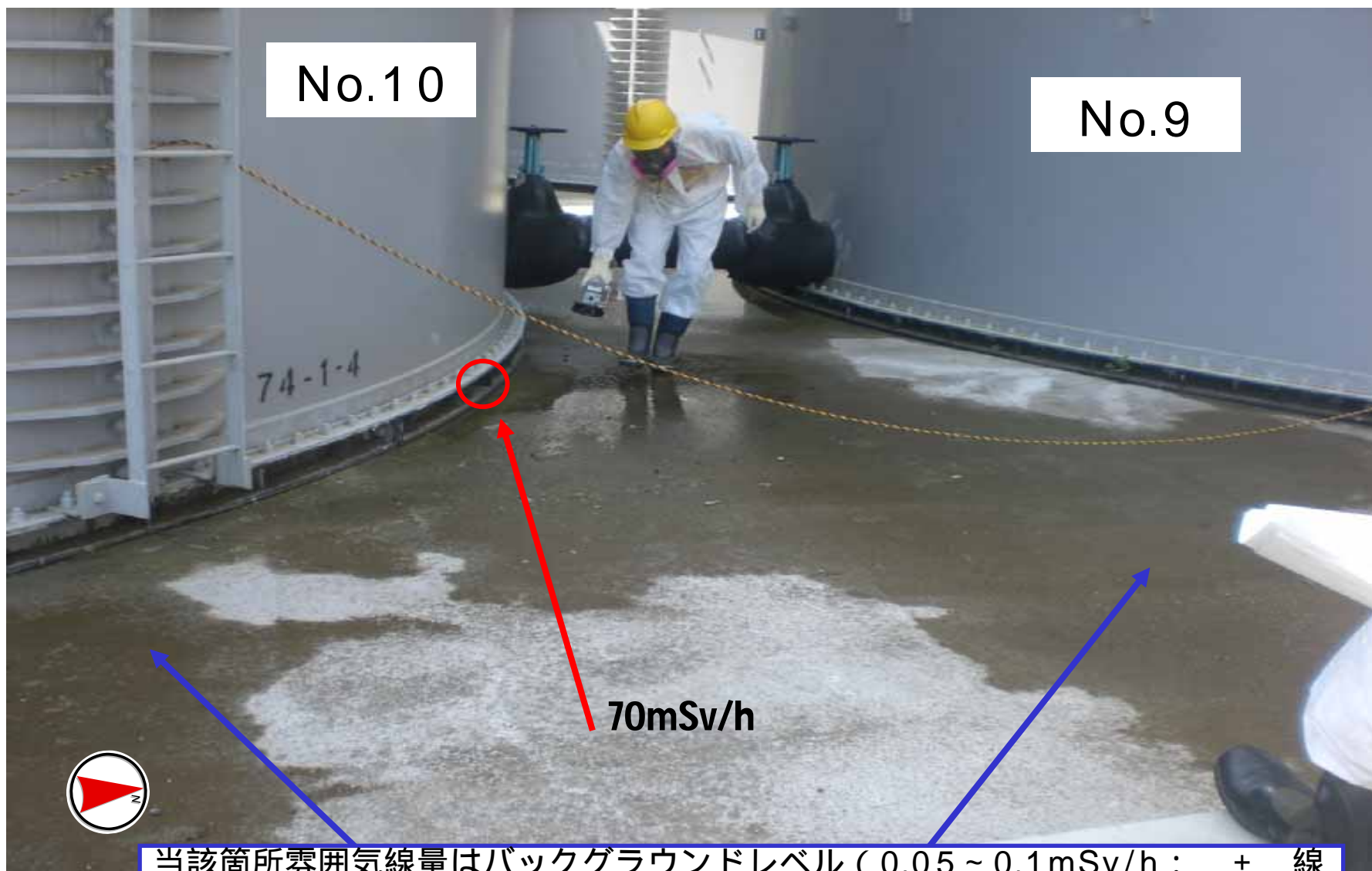
タンクの設置状況



H3エリアBグループNo.4 タンク底部フランジ近傍の様子



H3エリアAグループNo.10 タンク底部フランジ近傍の様子



当該箇所雰囲気線量はバックグラウンドレベル（0.05～0.1mSv/h：+線（70μm線量当量率））であることから、雨水と思われる